



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.3

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-9

CALENDAR カレンダー

会
告

期 日	講演・会合等名称(会場)《共催等》, 太字=本会関連
2014年(平成26年)	
3/3~4(月~火)	第72回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」—専門家による講義・実習, 個別質問—(早稲田大)《協賛》
3/4~6(火~木)	2014 International Garlic Symposium(アメリカ)《協賛》
3/6(木)	第2回次世代シーケンス技術応用研究会(豊橋)《後援》
3/6~7(木~金)	第7回レドックス・ライフィノベーションシンポジウム(東大)
3/7(金)	農環研公開セミナー「核酸から見えてきた農業に関わる微生物の生態と機能」(東京)
3/10~11(月~火)	平成25年度東北地区先端高分子セミナー(仙台)《後援》
3/14(金)	生命分子機能研究会セミナー2014「ペプチドの形から薬を創る」(長浜バイオ大)《協賛》
3/27~30(木~日)	日本農芸化学会2014年度(東京)大会
3/30~31(日~月)	第21回農芸化学Frontiersシンポジウム(守谷)
4/23(水)	—新適塾特別版—山村雄一記念ライフホール開設講演会(大阪)
4/26(土)	酵素工学会第71回講演会(九大)
5/22(木)	食品ハイドロコロイドセミナー2014(東京海洋大)《協賛》
5/22~23(木~金)	第31回希土類討論会(東京)《協賛》
5/23(金)	第25回食品ハイドロコロイドシンポジウム(東京海洋大)《協賛》
5/28(水)	千里ライフサイエンスセミナーF1「マクロファージの多彩な機能と疾患」(大阪)
5/31~6/1(土~日)	第16回マリンバイオテクノロジー学会大会(三重大)《協賛》
5/31~6/1(土~日)	第12回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(東工大)《協賛》
6/5(木)	公益財団法人発酵研究所第8回助成研究報告会(豊中)
6/6(金)	日本ゾル-ゲル学会第11回セミナー「新規な有機-無機ハイブリッド材料の設計と機能発現」(東京理科大)《協賛》
6/6(金)	新規素材探索研究会第13回セミナー(横浜)《共催》
6/6~7(金~土)	シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2014」(仙台)《共催》
6/7(土)	第24回万有福岡シンポジウム(九大)《協賛》
6/9~13(月~金)	第10回幼若ホルモン国際会議(つくば)《協賛》
6/10~11(火~水)	第105回有機合成シンポジウム(東工大)《共催》
6/11~13(水~金)	日本ケミカルバイオロジー学会第9回年会(阪大)《後援》
6/14(土)	第25回記念万有仙台シンポジウム(仙台)《協賛》
6/18~19(水~木)	平成26年度前期(春季)有機合成化学講習会(東京)《共催》
6/19~20(木~金)	第20回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(和歌山)《後援》
6/21~22(土~日)	文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型)「生合成マシナリー:生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」(平成22年~26年度)第7回公開シンポジウム(東工大)《後援》
6/28(土)	第51回化学関連支部合同九州大会
7/2~4(水~金)	第49回天然物化学談話会(倉敷)《協賛》
7/7~9(月~水)	第51回アイソトープ・放射線研究発表会(東大)《協賛》
7/9(水)	日本農芸化学会創立90周年・第40回化学と生物シンポジウム—「私たちの健康と食品」—(東大)
7/17~18(木~金)	日本プロテオーム学会2014年会(JHUPO第12回大会)(つくば)《後援》
7/17~18(木~金)	セルロース学会第21回年次大会(鹿児島大)《協賛》
7/19(土)	第4回天然物パワーシンポジウム「海外学術調査と天然物化学」(東大)《協賛》
7/26(土)	日本学術会議公開シンポジウム「昆虫における刺激の受容と反応」(仮題)(東京)

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
8/5～7（火～木）	国際カルノシン・アンセリン学会（星薬大）《後援》
8/7～8（木～金）	日本ゾル－ゲル学会第12回討論会（つくば）《協賛》
8/10～12（日～火）	第33回日本糖質学会年会（名大）《共催》
9/2～6（火～土）	第27回国際ポリフェノール会議2014（名大）《共催》
9/10～12（水～金）	第44回複素環化学討論会（札幌）《共催》
9/11～12（木～金）	第31回シクロデキストリンシンポジウム（島根）《共催》
10/22～24（水～金）	第51回ペプチド討論会（徳島大）《協賛》
11/24～26（月～水）	アジア環境化学国際会議（International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014）（タイ）《後援》
11/27～29（木～土）	第41回有機典型元素化学討論会（宇部）《共催》

メールアドレス登録のお願い

本会では、メーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係（shomu@jsbba.or.jp）まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

! 農芸化学会 からの お知らせ

英文誌出版の遅延について（お詫び）

2014年1月31日

英文誌編集委員長
植田和光

日頃より本会英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」(以下BBB)をご購読いただき、誠にありがとうございます。

当ホームページ、化学と生物誌会告(第51巻11号(2013)～)およびニュースメールでご連絡させていただきましたように、BBBの編集出版事業は、2014年1月発行号より、英国企業のTaylor and Francis社へ委託することとなりました。

(2013年11月号お知らせ2. 英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の刊行方法の変更参照)

現在、委託後初めてとなるVolume 78, No. 1の発行準備

を進めておりますが、微細にわたる最終的な摺合せに時間を要しており、発行が遅れることとなりました。読者ならびに投稿者の皆様に心よりお詫びいたします。

3月初旬には、学会マイページおよび<http://www.tandfonline.com/loi/tbbb>において早期公開させていただきました。暫時お待ちいただきますようお願いいたします。

なお、BBB Volume 77以前の論文はJ-STAGE外部リンクの公開サイトで閲覧可能となっております。引き続き、ご利用くださるようお願い申し上げます。

日本農芸化学会2014年度大会のお知らせ

1. 開催概要

会 期：2014年3月27日(木)～30日(日)

会 場：

【3月27日(木)】授賞式・受賞講演・懇親会：京王プラザホテル(〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1)／
【3月28日(金)～30日(日)】一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：明治大学生田キャンパス(〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1)

2. プログラム

【第1日目(3月27日)】学会賞等授賞式、受賞講演、懇親会／【第2日目(3月28日)】一般講演、ジュニア農芸化学会(51巻11号t-11ページ)、ランチョンセミナー、機器・試薬・書籍等展示会／【第3日目(3月29日)】一般講演、ランチョンセミナー、産学官学術交流委員会フォーラム(51巻11号t-12ページ)、ミキサー、機器・試薬・書籍等展示会／【第4日目(3月30日)】一般講演、ランチョンセミナー、JABEEランチョンシンポジウム(51

巻11号t-13ページ)、男女共同参画ランチョンシンポジウム、シンポジウム(シンポジウム一覧は51巻11号t-3ページ)、機器・試薬・書籍等展示会

3. 一般講演申込

一般講演の申込は12月6日(金)に終了しました。

4. 大会参加申込

大会参加の申込はWEBで受け付けます。

※参加申込 WEB受付期間(口頭発表者以外)：2013年12月6日(金)午後～2014年3月30日(日)正午

※一般講演申込をされた方は、新たに登録いただく必要はありません。

※大会参加費の納入は、WEB上でのクレジットカード決済・コンビニ決済をお願いいたします。

※下記ページを必読のうえ、お申込ください。

(51巻11号t-8ページ)大会参加申込要領(口頭発表者以外)

※WEBでの申込が困難な場合は、51巻11号t-14ページの参加申込書を切り取り、Fax(03-3815-1920)または郵送(〒113-0032 東京都文京

区弥生2-4-16 学会センタービル2階)で日本農芸化学会事務局大会係宛にお送りください。代理で登録し、オンライン参加受付番号をお知らせいたします。

5. 懇親会

懇親会参加専用WEBページからも申込いただけます。一般講演申込者で懇親会参加未定の方は、講演申込の際には、「参加しない」を選択してください。参加が決定しましたら、上記懇親会参加専用WEBページでお手続きください。

6. 参加費

下記ページを必読してください。
(51巻11号t-9ページ)参加費
(51巻11号t-10ページ)参加費の納入に関する注意点

7. 申込～大会当日までの流れ

(1)口頭発表者の方 ※共同発表者は除きます。

①2014年3月初旬：大会プログラム集が届く。 ※8.大会プログラム集を参照。

②2014年3月5日：PDF版大会講演要旨集の閲覧先URLがE-mailで通知

される。＊9.大会講演要旨集を参照。

③2014年3月初旬～中旬：大会参加証（懇親会参加者には指定マーク付き）が届く。

④2014年3月27日～30日：①の大会プログラム集、②のPDF版大会講演要旨集（各自で必要なページを出力）および③の大会参加証を持参して2014年度大会へ参加。

(2) 口頭発表者以外の方で、正規料金で大会に参加される方

①2014年2月10日午後以降から2014年3月30日正午まで：WEBで参加申込をする。

②2014年2月10日午後より：大会参加費（正規料金）をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する。

③E-mailに通知された受付番号をもって、当日受付へ。

8. 大会プログラム集：「2014年度大会プログラム集」（2014年2月25日発行）は、「化学と生物」誌第52巻3号に同梱してお送りいたします。

9. 大会講演要旨集（シンポジウム要旨、ランチョンセミナー要旨等を含む）：「2014年度大会講演要旨集」（2014年3月5日発行）は、冊子体は刊行せず、オンラインジャーナルとしてPDFファイル版を刊行いたします。大会参加費をお支払いされた方には、閲覧用パスワードとともにアクセス先URLをE-mailにてご案内します。

10. 大会参加証（ハガキ）：WEBで大会参加申込をされ、かつ2014年2月10日までに大会参加費を納入いただいた方には、3月に発送する予定です。

11. 懇親会参加証：大会参加申込の際、懇親会参加を申し込まれ、かつ懇親会参加費を2014年2月10日までに納入いただいた方には、大会参加証（ハガキ）に懇親会参加者マークを付けて、3月に発送する予定です。

12. 託児ルーム（51巻11号t-11ページ）

13. 公共宿泊施設（51巻11号t-10ページ）

14. 大会実行委員会（一部抜粋）
実行委員長：正木春彦（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

15. 大会の申込・要旨投稿等全般に関する問合せ先

[日本農芸化学会事務局大会係]
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル2階
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: kouen@jsbba.or.jp

2014年度学会賞等授賞式、受賞者講演、懇親会

日 時：2014年3月27日（木）10時30分～17時30分（受付9時30分～）

場 所：京王プラザホテル南館5階エミネスホール（東京都新宿区西新宿2-2-1）
進行予定：

(10:30) 2014年度学会賞等授賞式

1. 授賞選考委員長報告
2. 日本農芸化学会賞授与
3. 日本農芸化学会功績賞授与
4. 農芸化学技術賞授与
5. 農芸化学奨励賞授与

(10:55) 第11回農芸化学研究企画賞表彰式

1. 産学官学術交流委員長報告
2. 農芸化学研究企画賞表彰

(11:00) 特別表彰

(11:10) 会長祝辞

(11:15) ***** 休憩15分間 *****

(11:30) 受賞者講演

(11:30) 日本農芸化学会賞受賞者講演（2件、各25分）

(11:30-11:55) 加納健司（京都大学大学院農学研究科）

「酸化還元酵素・電極共役系を基盤とした生物電気化学研究の展開」

(11:55-12:20) 宮澤陽夫（東北大学大学院農学研究科）

「分析化学を基盤とした食品機能性研究の先導的展開」

(12:20) ***** 休憩70分間 *****

(13:30) 日本農芸化学会功績賞受賞者講演（2件、各25分）

(13:30-13:55) 安達修二（京都大学大学院農学研究科）

「食品製造における速度過程が関与する現象の工学的解析」

(13:55-14:20) 横田明穂（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）

「植物機能高度活用のための分子基盤開発」

(14:20) 農芸化学技術賞受賞者講演（4件、各15分）

(14:20-14:35) 山本直之、中村康則（カルビス(株)）

「乳由来血圧降下ペプチド素材の開発」

(14:35-14:50) 協和発酵バイオ(株)

「ジペプチド発酵技術の開発と工業化」

(14:50-15:05) 北林雅夫¹、小松原秀介¹、今中忠行²（¹東洋紡(株)、²立命館大学生命科学部）

「超好熱菌由来の新規DNAポリメラーゼの発見とその産業利用」

(15:05-15:20) 牧野聖也、池上秀二、狩野 宏、伊藤裕之（(株)明治）

「免疫調節多糖体を産生する乳酸菌を活用した機能性ヨーグルトの開発」

(15:20) ***** 休憩10分間 *****

(15:30) 農芸化学奨励賞受賞者講演（10件、各12分）

(15:30-15:42) 石井剛志（静岡県立大学食品栄養科学部）

「食品および酸化ストレス関連因子による生体タンパク質の翻訳後修飾に関する研究」

(15:42-15:54) 大坪嘉行（東北大学大学院生命科学研究科）

「環境細菌のPCB分解能を司る遺伝因子の解析と各種ゲノム解析ソフトウェアの開発」

(15:54-16:06) 柴田貴広（名古屋大学大学院生命農学研究科）

「脂質メディエーターに関する化学生物学的研究」

(16:06-16:18) 鈴木卓弥（広島大学大学院生物圏科学研究科）

「消化管のタイトジャンクション機能を制御する食品成分・生体内因子に関する基礎的研究」

(16:18-16:30) 都築 毅（東北大学大学院農学研究科）

「天然由来機能性脂質の食品栄養学的特性に関する研究」

(16:30-16:42) 沼田倫征（(独)産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門）

「tRNA転写後修飾メカニズムの分子基盤解明」

(16:42-16:54) 藤村由紀（九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点）

「緑茶の機能性を捉える低分子ケミカルセンシングに関する研究」

(16:54-17:06) 古川壮一（日本大学生物資源科学部）

「食品関連微生物が形成するバイオフィルムの制御と利用に関する研究」

(17:06-17:18) 丸山如江（京都大学大学院農学研究科）

「構造生物学を基盤とした糖質の認識・輸送・分解機構に関する研究」

(17:18-17:30) 吉村和也（中部大学応用生物科学部）

「植物Nudix hydrolaseファミリーの生理機能に関する研究」

(17:30) 終了予定

(18:00-20:00) 懇親会：京王プラザホテル本館5階コンコルドボールルーム

2014年度（平成26年度）受賞者紹介

日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞

日本農芸化学会賞（2件，50音順）

加納 健司（かのう けんじ）：1954年生まれ／1982年京都大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士課程修了，農学博士／現在，京都大学大学院農学研究科・教授



宮澤 陽夫（みやざわ てるお）：

1950年生まれ／1982年東北大学大学院農学研究科食糧化学専攻博士課程修了，農学博士／現在，東北大学未来科学技術共同センター・プロジェクトリーダー・教授，東北大学大学院農学研究科・教授



日本農芸化学会功績賞（2件，50音順）

安達 修二（あだち しゅうじ）：1951年生まれ／1978年京都大学大学院農学研究科食品工学専攻博士課程中途退学，農学博士／現在，京都大学大学院農学研究科・教授



横田 明穂（よこた あきほ）：1948年生まれ／1977年大阪府立大学大学院農学研究科博士課程単位取得後中退，農学博士／現在，奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科・教授



農芸化学技術賞（4件，順不同）

山本 直之（やまもと なおゆき）：1958年生まれ／1984年東京工業大学生命理工学研究科修士課程修了，理学博士／現在，カルピス(株)研究戦略部・部長



中村 康則（なかむら やすのり）：

1962年生まれ／1986年北海道大学薬学部製薬化学科卒業，農学博士／現在，カルピス(株)発酵応用研究所・次長



協和発酵バイオ株式会社：2008年10月1日（創立）／代表取締役社長：石野修一



協和発酵バイオ

北林 雅夫 (きたばやし まさお) :
1968年生まれ／2004年広島大学大学院生物圏科学研究科生物資源開発学専攻博士課程修了，農学博士／現在，東洋紡(株)バイオケミカル事業部・部員



今中 忠行 (いまなか ただゆき) :
1945年生まれ／1969年大阪大学大学院工学研究科醗酵工学専攻修士課程修了，工学博士／現在，立命館大学生命科学部・教授，学部長



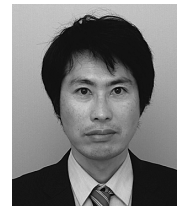
小松原 秀介 (こまつばら ひでゆき) :
1964年生まれ／1987年東京農工大学工学部高分子工学科卒業，工学士／現在，東洋紡(株)ライフサイエンス事業部・マネジャー



牧野 聖也 (まきの せいや) : 1974年生まれ／2001年名古屋大学大学院生命農学研究科修士課程修了／現在，(株)明治 食機能科学研究所・研究員



狩野 宏 (かの ひろし) : 1972年生まれ／1998年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了，博士(農学)／現在，(株)明治 食機能科学研究所・グループ長



池上 秀二 (いけがみ しゅうじ) :
1958年生まれ／1982年京都大学農学部食品工学科卒業，博士(農学)／現在，(株)明治 食機能科学研究所・部長



伊藤 裕之 (いとう ひろゆき) :
1956年生まれ／1979年東京農工大学農学部農芸化学科卒業，博士(生物資源科学)／現在，(株)明治 食機能科学研究所・所長



農芸化学奨励賞 (10件, 50音順)

石井 剛志 (いしい たけし) : 1977年生まれ／2005年名古屋大学大学院生命農学研究科応用分子生命科学専攻博士課程修了, 博士(農学)／現在, 静岡県立大学食品栄養科学部食品生命科学科・助教



沼田 倫征 (ぬまた ともゆき) : 1975年生まれ／2003年九州大学大学院生物資源環境科学府生物機能科学専攻博士課程修了, 博士(農学)／現在, (独)産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門・主任研究員



大坪 嘉行 (おおつぼ よしゆき) : 1973年生まれ／2001年東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命工学博士課程修了, 博士(農学)／現在, 東北大学大学院生命科学研究科生態システム生命科学専攻・助教



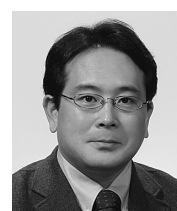
藤村 由紀 (ふじむら よしのり) : 1975年生まれ／2003年九州大学大学院生物資源環境科学府生物機能科学専攻博士課程修了, 博士(農学)／現在, 九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点・准教授



柴田 貴広 (しばた たかひろ) : 1979年生まれ／2006年名古屋大学大学院生命農学研究科応用分子生命科学専攻博士後期課程修了, 博士(農学)／現在, 名古屋大学大学院生命農学研究科応用分子生命科学専攻・助教, JSTさきがけ研究者兼任



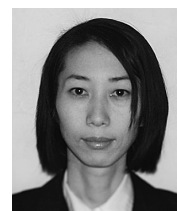
古川 壮一 (ふるかわ そういち) : 1973年生まれ／2001年九州大学大学院農学研究科食糧化学工学専攻博士課程修了, 博士(農学)／現在, 日本大学生物資源科学部食品生命学科食品微生物学研究室・准教授



鈴木 卓弥 (すずき たくや) : 1973年生まれ／2005年北海道大学大学院農学研究科博士課程修了, 博士(農学)／現在, 広島大学大学院生物圏科学研究科生物機能開発学専攻・准教授



丸山 如江 (まるやま ゆきえ) : 1975年生まれ／2004年京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻博士課程修了, 博士(農学)／現在, 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻, 日本学術振興会特別研究員 (RPD)



都築 毅 (つづき つよし) : 1975年生まれ／2005年東北大学大学院農学研究科応用生命科学専攻後期3年の課程修了, 博士(農学)／現在, 東北大学大学院農学研究科生物産業創世科学専攻・准教授



吉村 和也 (よしむら かずや) : 1973年生まれ／2001年近畿大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士後期課程修了, 博士(農学)／現在, 中部大学応用生物学部食品栄養科学科・准教授



会費納入時期の変更・学生会費の減額・会誌の刊行にかかる重要なお知らせ

このたび日本農芸化学会は、2014年度より会費納入時期の変更、学生会員の減額、会誌刊行方法の変更を実施することを決定しましたのでお知らせいたします。

今後の農芸化学会のさらなる発展のため、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 会費納入時期の変更と学生会費の減額

2014年度会費（3月～）は事前納入していただくこととなりました。それによって2014年度大会（2014年3月下旬開催）に参加される方は、大会発表時に会員資格を有していただくことができます。次年度会費の請求は年次大会の参加登録時期（11月～12月）にあわせて行います。またあわせて、学生会員の負担を軽減するとともに学生会員の増加を期待して、学生会員会費を減額いたします。来春修了予定の学生会員の方は、次年度分会費として改定後の学生会員費（4,000円）が適応されます。詳しくは、学会ホームページをご覧ください。

(1) 改定する会費の金額と対象

対象	現在の会費	2014年度からの会費
学生会員	6,000円	4,000円 (2,000円値下げ)

(2) 会費の納入時期の変更（全会員）

現在	変更後
事業年度開始時 (毎年3月)	事業年度開始前 (毎年11月～12月) 本年より

② 英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の刊行方法の変更

将来にわたって健全な財政運営を維持し、世界への農芸化学の発信と高品質かつ迅速な学術論文誌の刊行を目指し、本会の英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」（以下BBB）の編集出版事業を2014年1月発行号より、英国企業のTaylor and Francis社へ委託することを決定いたしました。

③ BBB誌のオンライン閲覧と冊子体の購読

BBB掲載論文は、2014年1月より本会ホームページのマイページから、全会員の方に無料でオンライン閲覧できます。オンラインBBB（2014年No. 1～）閲覧のためには、2014年度の会費の納入が必要となります^{*1}。学生会員の皆さまにオンラインBBBを気軽に閲覧していただくため、会費の減額を決定いたしました。また、冊子体ご購読を希望される方には、下記（2）の方法でお申込みください。

(1) オンラインBBBへのアクセス方法

マイページにアクセスし、ID（会員番号）及びパスワードをご入力ください。ログインID（会員番号）は、化学と生物誌の送付状およびニュースメールに記載されている数字7桁です。パスワードをお忘れの方は、マイページ画面上で再発行が可能です。

■アクセス先URL（個人会員専用マイページ）：<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>

※法人会員には、個別に郵送でご案内いたします。

(2) 冊子体BBBの購読

冊子体BBBの購読をご希望の方は、1巻12冊分（No. 1～No. 12）の冊子代金として正会員の方は1年間あたり8,400円、学生会員の方は1年間あたり5,500円をご納入ください。現在購読されている方には送本を継続いたします。新たに冊子体BBBを配本希望の方は、会員番号、氏名、BBB冊子体購読希望と明記のうえ、メールまたはFaxにて、学会事務局宛にお申込みください。

公益社団法人日本農芸化学会事務局

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: shomu@jsbba.or.jp

④ 和文誌「化学と生物」のオンライン化

本会和文誌「化学と生物」の編集事業が直面している困難な財政状態に対応し、印刷費や送料等の経費削減を図るため、2015年（**再来年**）より冊子体の無料配布からオンライン刊行への移行を目指すことにいたしました。会員の皆様には2014年4月より、BBBと同様にマイページから新刊をオンライン閲覧していただける予定です。試行期間を経て、オンライン刊行へ移行する予定です。

^{*1} 会員の皆様はマイページにログインし、会費お支払状況からクレジットカードまたはコンビニを選択し、決済を行ってください。（マイページログイン：会員番号、パスワード）

例年通り会費の振替用紙は郵送いたしますが、振替用紙を用いたお支払いは入金確認に時間を要し、すぐにはオンライン雑誌の閲覧をしていただけません。できる限り、クレジットカード決済、マイページからのコンビニ決済、あるいは口座引き落としのご利用をお願いいたします。

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方にに基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生，教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などのご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道，東北，関東，中部，近畿，中国四国，九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

(PDF)にてお申込みください。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務
局広報係 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail:soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新入会・登録情報変更などの
URLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新規入会，登録情報確認・変更のURL
は下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないように十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、
E-mail などご登録いただいていないようでしたら是非ご登録下さいませようご協力く

ださい。

「日本農芸化学会ホームページURL」

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行ってください。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局會員係》 Tel. 03-5803-9561, Fax.
03-5803-9562. E-mail: kajin@jsbba.or.jp



第51回化学関連支部合同九州大会研究発表募集

共催：繊維学会西部支部ほか7化学関連支

部

期日：2014年6月28日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市小倉北区浅野3-9-30）

発表申込期間：2014年3月10日（月）～28日（金）

予稿原稿締切：2014年5月9日（金）

申し込み方法、予稿原稿の執筆要領および

プログラムの詳細は今後、大会ホームページ (<http://www.godo-kyushu.jp>) で公開します。